



混ぜた方がいいよ！

年長児、クラス対抗リレーを実際にやってみて2位となった子どもたち。

「このままじゃダメ…」

「先生さくら組会議開こう！」

と子どもたちから声が上がりました。

それまで「女の子チーム」と「男の子チーム」で走りたい！という声もあったようで、男子と女子で別れていたチーム。

サークルタイムの中でみんなの気持ちをまずは聞いてみることに。

「リレーで1番になりたい！」

「今日負けたにじ組に勝ちたい！」

などの意見が上がりました。

「じゃあ、勝つためにはどうしたらいいと思う？」

と声をかけると

「走る練習をする！」

「走る順番を変える！」

という、これまでの意見に加えて

「やっぱり、男の子と女の子を混ぜて協力した方がいいと思う！」

という新たなアイデアが！その意見をきっかけに

「え、じゃあ僕が女の子の手伝いしよっか？」

と、男の子たちも積極的に意見が上がりました。

負けて悔しい！という気持ち、次は勝つぞ！という気持ち。そういった勝敗の結果よりも、こうしたそれまでの過程で起こるクラスでの話し合いや思いの伝え合い。自分の気持ちとの葛藤なども含め、仲間との試行錯誤こそが子どもたちにとって大切な経験となり、学びへとつながっているように感じました。